

令和2年度後期授業評価アンケート集計結果

1. 趣旨

極域科学専攻が開講している授業科目の優れた点、問題点、改善すべき事項等について、学生の意見や意識を把握し、カリキュラムや授業方法等の教育課程の改善に資するため、授業評価アンケートを実施する。

2. アンケート実施方法

極域科学専攻生にアンケート用紙を個別配布（wordで配布）し、電子データで回収。

3. 回答率等

- 1) 対象開講科目数 3科目（ただし各種オムニバス講義、極域科学特別研究・極域科学特別演習は除く
- 2) 履修者数 3名
- 3) 期待回答数 6件
- 4) 回答数 4件
- 5) 回答率 66.7% $(\text{回答数(4)} / \text{期待回答数(4)}) \times 100$

4. 集計結果と個別分析

評価基準は各項目共通で次のとおり

4：強く思う 3：そう思う 2：そう思わない 1：全くそう思わない

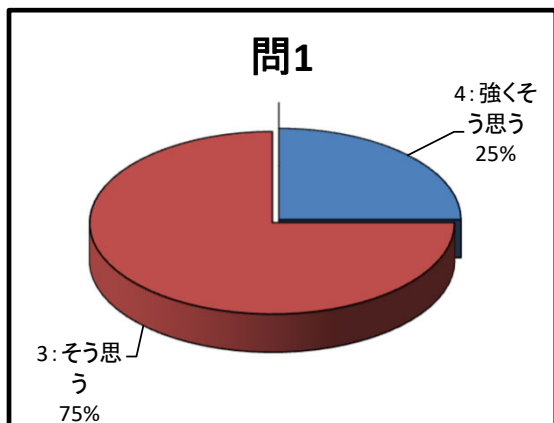
なお、無回答及び該当無しという回答については、集計の対象からは除外した。

コメントは回答結果をもとに事務局が原案を作成した。

問1. 授業の内容はシラバスの内容と対応していましたか。

4 : 1件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件

【平均3.25】

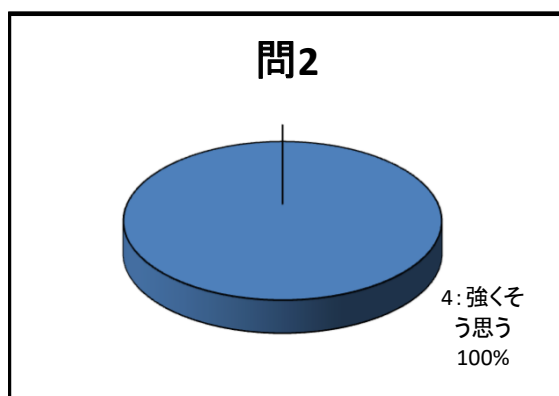


(コメント)
4と3で10割を占めており、シラバスの内容どおりに授業が行われていることがわかる。

問2. 授業の難易度は適切でしたか。

4 : 4件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

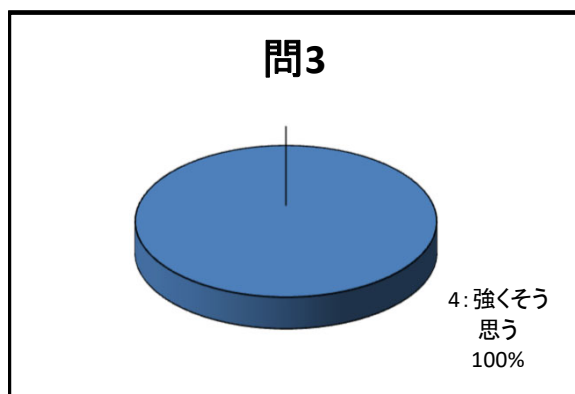


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業の難易度について適切と感じていることがわかる。

問3. 授業の進度は適切でしたか。

4 : 4件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

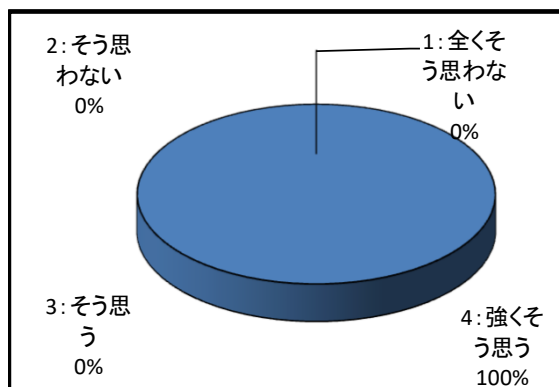


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業の進度について適切と感じていることがわかる。

問4. この授業を受けることで、理解が深まりましたか。

4 : 4件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】

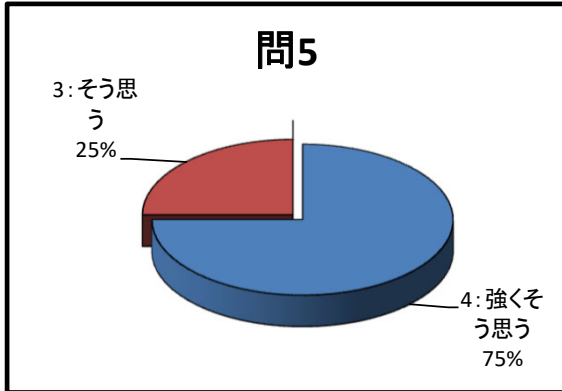


(コメント)
4が10割を占めており、学生が授業を受けることで理解が深まっていることがわかる。

問5. 授業により知的な刺激を受け、更に関連する分野を学んでみたいと思いましたが。

4 : 3件 3 : 1件 2 : 0件 1 : 0件

【平均3.75】



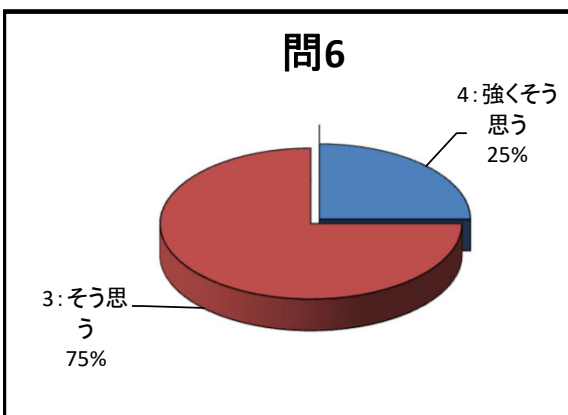
(コメント)

4と3で10割を占めており、学生が授業により知的な刺激を受けていることがわかる。

問6. 授業に対する教員の熱意を感じましたか。

4 : 1件 3 : 3件 2 : 0件 1 : 0件

【平均3.25】



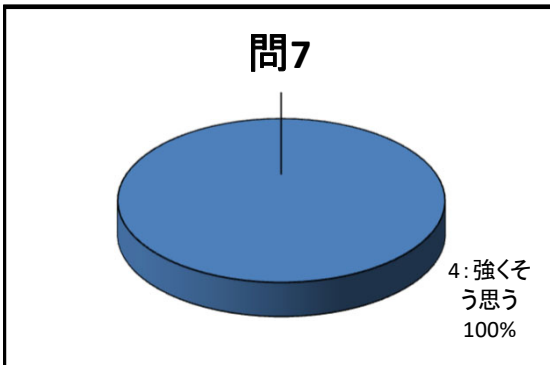
(コメント)

4と3で10割を占めており、学生が教員の熱意を感じていることがわかる。

問7. 総合的に判断して、この授業に満足しましたか。

4 : 4件 3 : 0件 2 : 0件 1 : 0件

【平均4】



(コメント)

4が10割を占めており、学生が授業に満足していることがわかる。

問8. この授業で良かった点、また改善すべき点、その他特記事項があれば、記入してください。

回答数： 4 件

良かった点：

- ・ 毎講義、質問の時間が十分に設けられていたので、講義内容の理解をより深めることができました。
- ・ 分野が違うため難しそうというイメージだったが、実際には一から丁寧に説明していただき、講義の最後には質問に回答していただく時間を設けていただいたので、終始理解しながら講義を受けられた。
- ・ 面白い論文、書き方が参考になる論文、自分の研究に生かせそうな論文など、講義ごとに多種多様な論文を紹介していただき、論文に対する見方が良い意味で変わり、理解を深めることが出来た。
- ・ 陸上生物に関しては知らないことも多かったが、適宜理解できたかどうかの確認をいただいたので、自分のペースで授業を受けられた。また、自分で考える時間を設けていただいたので、問題に対して自分なりの答えを出す力が多少ついたように思う。

改善すべき点：

- ・ (特に意見はなかった)

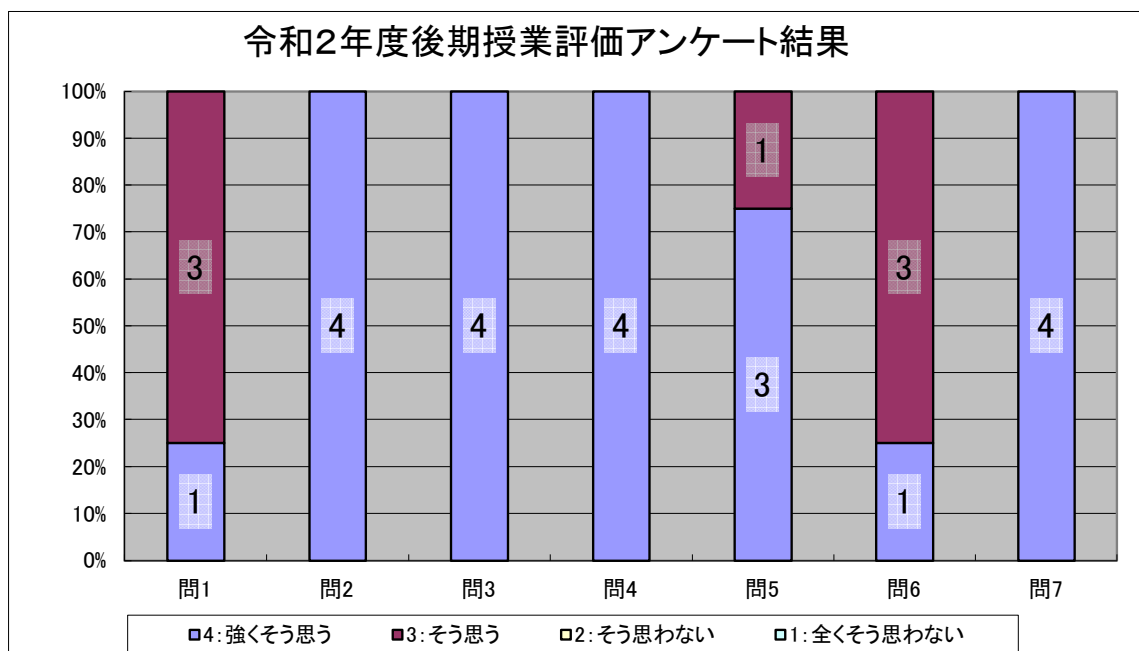
5. 令和2年度後期授業評価アンケートのまとめ

(1) 授業内容について (問1～問6)

3と4の評価が10割を占めていることから、学生は授業に満足していることがわかる。全体的に極めて良い結果となった。

(2) 総合評価 (問7)

全て4であり、良い結果となった。



6. 今後の対応

授業担当教員から学生宛にアンケート実施を依頼している。

評価アンケートについては大学院係からも学生宛にリマインドをすることで回収率が上がるため、今後もこの方法で実施する。